

## 学生発表要旨②

畜産学科の授業では、家畜の体のつくりや飼養管理の方法など、さまざまなことを学ぶことが出来ます。その中でも特に私が大事だと思った授業があります。それは家畜繁殖学です。この授業は一年生の初めから学ぶことになります。この授業で主に習うのは、牛の繁殖に関することや人工授精のことを学ぶことが出来ます。私は実習で繁殖牛を担当しており、実習中に授業で習ったことを活かせるときがあり、習っていてよかったなと思いました。

次に実習について話します。畜産学科では、牛、豚、鶏の中から自分が興味のある家畜を選んで担当します。私は牛を担当して実習しています。実習は畜産試験場で行われています。実習では、牛への給餌や牛舎の掃除、牛の体側ということから、ボブキャットの運転、ロープワークの練習などを行っています。畜産試験場の方から新しいロープワークの仕方や牛の飼養に関する知識などを教えてもらいそれが自分でも出来るようになったり、新しい知識を身につけることができることとそれを実習のなかで活かせることがうれしいです。

次に資格の説明です。この学校では農業技術検定や危険物取扱者乙4類、毒劇物取扱者などのさまざまな資格を取得することができます。資格試験の前には勉強会が開かれるので合格したい人はぜひ参加してください。また畜産学科だけですが、家畜人工授精師の資格試験を2年に1回受験することができます。試験を受ける前に講習があり実技と座学があります。この資格は先ほど話した畜産繁殖学の内容になってきますのでしっかりと勉強し合格できるように頑張ってください。

次にプロジェクトについて話します。この学校では一人一人が興味をもったことや調べたいことについて実際に自分で研究することができます。私のプロジェクトは、発情発見の手段として土佐あかうしにファームノートという首輪を取り付けることにより牛の発情を見逃すことが少なくなり、土佐あかうしの増体をはかることができないかというプロジェクトです。現在このプロジェクトは終わり、データをまとめている最中です。

最後に寮生活について話します。寮は基本的に2人1部屋です。朝と夜にそれぞれ1回点呼があります。授業が終わったあとはテレビを見たり体育館でスポーツをしたり自由な時間を過ごします。またお風呂や食堂が使える時間は決まっていますので時間を守って使うようにしてください。寮生活に不安を抱く人もいます。私も友達ができるのかとても不安でした。ですが心配しなくても寮生活を送るうちに自然と友達ができていったので安心してください。以上で終わります。